(每月1回発行)

何よりも『人』

udbide

晴れの新町議の顔ぶれ

大野高吉 保千代広(戒川)

(今坊)

果表

職

生典隆 (櫛生) 久

之助(青島)、宝 市(今坊)紙本徳 定(長浜)後藤熊 永 (柴) 、浦田

(櫛生)、

徳山長

大成

一宫泰忠

ちました。

地区とも、有権者のめざめが目立 有の激戦選挙とあつて、町内の各 %で、前回の投票率より、 九三・○八%。今回は九一・四三

下まわ

二十の議席に対して八人オーバ

の二十八人が立候という、未曾

さわしい人』を選ばなくては……「町民の中から、『町議会議員にふ を選ぼうという声の盛り上りの選 という声が高まり、

語つていました。 挙が、今回の選挙でした。 と、町内の各地区の有権者は、 開票は、午後八時から、 体育館

ました。
て、午後七時半の受付を待つていて、午後七時半の受付を待つてい 参観者がどつとつめかけ列をなし 行なわれました。 午後六時半頃から、 体育館前に

増田晴茂)の諸般にわたる説明と 長浜町選挙管理委員会委員長( 未曽有の数を示し、

その

瞬

ーンと場内は、

本鈺則

宮亀久雄

得票数

529

495

456

444

433

426

407

390

379

377

371

367

364

356

337

333

324

318

303

292

257

義徳(沖浦)、村直 ( 種積 ) 、川田直 ( 種積 ) 、川田

生)、藤岡義範

当選者氏名

小川儀三郎

徳山 長永

-宮亀久雄

浦田

村本

後藤

門田

二宫

一官

坂田

大成

大野

宝生

頼永

定 50

義徳

武則

熊市

正直

泰忠

信也

淳 40

高吉

典隆

一夫

渡辺仁之助

紙本徳之助

藤岡 義範

二宮金之助

久保千代広

博 45

、坂田信也

(櫛

一宮金之助(長浜

得票点検結

56 社 新

38 " 新

65

60

55

55 " 前

42

41 " 元

40

62

39

55

51

49

37

48 "

28 "

35 "

"

年令 党派 新旧

無

" " 新

前

前

新

新

新

"

前

新

前

新

新

N

Ł 曇空で、 判をくだしました。 内十四か所に設けられた投票所で 万二百七十六人)の投票者が審 町議会議員の総辞職に伴う、長

行なわれた町議選の投票日は、さる昭和三十八年一月二十一日

との厳寒期の最中にもかかわら

気温は二度。

投票率は、

前回の方がよく、

何よりも 人〟を選ぶ」

## 報 行 所 発

愛媛県喜多郡 長浜町役場

印刷所 岸本印刷所 9月の人口動態

男女計

7.898 8.593 6.491 4.033 (末日亡 死亡 離婚 1 1 出生 婚姻  $\frac{21}{7}$ 

### 有終の美をかざつ た 午後九時四十五分にオニ回速報そ 町議

手さばきを見まもつていました。 をうつたように静まり、開票係の な電波をお送りすることができた 庭におとどけしたいシーンでし ら、電波で町内のみなさんのご家 有線放送電話が、テレビのよう

て、選挙会を開き、

つぎの方を当

9

月定例

町

議

して午後十一時に確定発表があつ

午後九時十五分に、オ一回速報

当日は、日本晴れに恵まれ、

十月八日に

美をかざりました。 今回は、キレイな選挙で、 選と決定しました。

とにかく、選挙は、終りました 有終の

した。

午前十時から、

会議室で開かれま

九月定例町議会は、九月十四日

補正予算、長浜町中小企業振興資 町長から、八件の議案が提出が 未曽有の傍聴者の列席した中

浜)、渡辺仁之助 小川儀三郎(長 (豊茂 なお、提出された議案および

千円から、二万五千円に引き上げ ているが、低所得者の保険税の軽 少しでも低所得者の保険税を軽減 減を図る趣旨で、控除額を一万五 に対しては、 (現在、九万円以上所得のある方 一万五千円を控除し

その内容はつぎの通りです。 長浜町国民健康保険税条例の

員の選任 別会計補正予算 (須沢簡易水道施設改良事業費

と朝日飲料水給水施設事業費の (長浜町中小企業融資審査会委員 長浜町中小企業融資審査会委 産業経済委員長、

活発な質疑応答が行なわれました 金融資条例の制定などについて、 が、全議處を原案の通り可決、

補正予算  $\Diamond$ **\Q**  $\Diamond$ 会計補正予算 昭和四十年度長浜町港湾特別

特別会計補正予算 昭和四十年度長浜町農業共済

昭和四十年度長浜町上水道特

**\rightarrow** 

九月 政 の 日 誌

三日 | | 二十日

消防操法大洲喜多地区 交通安全推進協議会 国勢調査説明会

大会

### 長浜町議会議員選挙投票状況 当日の 棄権者

			有権者		投宗石		来惟白		172	示	<del>242</del>
			男	女	男	女	男	女	男	女	計
	今		258	288	227	258	31	30	87.98	89.58	88.83
	黒	田	158	176	139	161	19	15	87.97	91.48	89.82
	長浜 1		756	921	651	833	105	88	86.11	90.45	88.49
	長浜 2		737	904	650	811	87	93	88.20	89.71	89.03
	青	島	145	178	133	164	12	14	91.72	92.13	91.95
	沖	浦	281	350	246	337	35	13	87.54	96.29	92.39
	須	沢	80	88	74	85	6	3	92.50	96.59	94.64
	櫛	生	393	473	360	445	33	28	91.60	94.08	92.96
	出	海	307	369	278	350	29	19	90.55	94.85	92.90
	豊	茂	337	376	310	357	27	19	91.99	94.95	93.55
	下須戒		417	486	381	448	36	38	91.37	92.18	91.81
	白	滝	444	558	412	523	32	35	92.79	93.73	93.31
	戒	Ш	140	156	133	153	7	3	95.00	98.08	96.62
	17	上	930	970	217	259	13	11	94.35	95.93	95.20

# 会から

することになつた) 長浜町中小企業振興資金融資 昭和四十年度長浜町一般会計 助役、 相互銀行の

任。 十六日退職、 (教育委員、 教育委員の選任 、収入役、産業課長を決定し銀行の各長浜支店長それに、、供予銀行、広島銀行、愛媛 後任に小泉茂氏を選林 日出猪氏が八月

三日

日

VYS研修会

八日

婦人ともしび大会選挙管理委員会

一六日

天水ろか装置大蔵省

検査(青島)

四日

定例町議会

豊茂地区診断予備調査 旧軍人恩給指導

の河井八十 また、 九 月三十日付で任期満了 氏を再選)

**八** 日

共同募金会、区長会

生活学校上級コース

閉校式

商工会正副 四二一日日日 とつぼ投入事業 員総会 算審議

総合建設 会社役員 会社役員 農 農 司法書士 農 司法書士 次点

ニ七日

大会

**为一回長浜町社会福祉** 

ニセ日 二六日 二四日

町議選立候補について

の説明会

豊茂地区診断 商工業振興協議会

三十日 二九日

**園開墾、共同防除施** 農道新設、かんきつ 農協合併推進協議会

設現地検査 (豊茂)

中 ができました 小企業振興資金制度

人および組合は、五十万円です。 町単独の資金融資制度ができまし た。個人の場合は、三十万円、法 この資金を借りたい方は、 長浜町の商工業者を対象とし、 商工

9月定例町議会で補正された

も

の

66万円

な

主

4.683 5.593 4.211 5.184 472 409 89.92 92.69 91.43

へき地診療所建築工事費=豊茂 226万円 し尿処理組合の負担金 135万円 30万円 街路灯工事 310万円  $\nabla$ 町 道 改 修 舗 30万円  $\nabla$ 道 路 装 費 493万円  $\nabla$ 出 海 公民館 建築費 436万円 青島電気事業整備費 須沢漁港施設復旧費 185万円 63万円 須沢簡易水道事業費  $\nabla$ 250万円

朝日飲料水給水施設費  $\nabla$ 有線放送電柱建替工事費 (白滝、出海、沖浦)

産業課商工係にご連絡くだ

を堅持

健全財政の基

ζ'n

お先、まつくらの状態で

るい材料は何ひとつ見当らない。 増大等で、現在のところ、全く明 の維持管理に要する経常的経費の 種施設施策の整備に伴い、これら

あるが、

七千三百四十四万円とな

つている。

今後、農業構造改善事業を中心

流通機

まず、

町政執行の根幹をなして

構の改善を図る。

あげて、ご参考に供すると共に、 抱いております考えの一端しを申

の拡大による支出増、その他、各

出した農林業費は、

昭和三十八年度は、千四百三十

るが、これらを推進するために支 産技術の向上に関するものとがあ 農業基盤の整備に関するものと生 索道を始め、かんがい排水施設等

五万円、

三十九年度は、五千八百

七十五万円、四十年度は現在額で

人件費の増加、公共事業費のわく 鈍化に加えて、給与改訂等による 難の様相を呈し始めた。

全国的不景気の影響を受け税収

交付棁等,

一般財源の伸びの

て、地方財政は、かなり、深刻困

構じている。

生産の向上には、農道、林道、

であると考えている。

組織の合理化とそれぞれの施策を 大別して、生産性の向上と、

流通

四十年度を転期とし

であろうかと考えている。 画的財政運営を維持してきた結果 積極政策をとりつつ、あくまで計

今後、ど指導とど協力をお願い申

本

なり、

健全財政の基調を堅持して

せると、三百三十三万円の黒字と たが、一般会計と特別会計を合わ 港湾、直診、以上の特別会計の

総体の赤字が、五百六十五万円出

振興、

政推進の根本原則としている産業

つぎに、私の町長就任以来、町

れた、

教育の向上の三本の柱につ 公共事業の強力な推進、そ

いて、

差引して、水道、国保、

青島航路

歳出は、一億二千四百三十二万円

一億一千八百六十七万円

思われる。

施策の推進をはかる必要があると

今後の財政運営には、思いきつた のではないかと推察される。 付税の減少は、一千万円にも及ぶ すものとみられ、これに基づく交 の現人口は、二千余人の減少を示 施した国勢調査の結果では、

統合中学建設 專門 部 会

通学 委員 校舎 委員

大野高吉 徳山長永

菊地三佐子

久保千代広

村本武則

別な職業

ないしは、技能訓練とい

み、一般的社会教養のほかに、特

立つ施策

を行いたい。

たとえば、下級船員の技能を養

つた、明日の生産活動に、直接役

用地 委員 財務 委員

大成厚

宝生與隆

一宮亀久雄

小川儀三郎

藤岡義範

る。

渡辺仁之助 門田 博 浦田 定議長 副議長 文教厚生委員全員-各部会へ嘱託

**冗費の節約と、計画的、重点的な** 

柱

3

町民のため積極果敢に推進

長政策により、

交付税等の伸びが

商工観光の三つに大別できるが、

当町の産業は、農林業、水産業

通機構の改善を図る

その最もウエイトの大きいものは

とれは、

累年にわたる、高度成

あり、町としても事業について、

農林業である。

農林業の振興の方法は、二つに

この機会に、町政の現況、ならび

年度に繰越したものが、 になつた。差引すると、

八百九十 昭和四十

八万円である。

つぎに、特別会計は、

ĸ

日頃、私が町政執行の上に、

について、まだおわりになかつて

あつては、今までの町政の実態等

歳出は、三億五千七百七十二万円

の決算額であるが、

歳入は、

三億六千六百七十万円

成されまして、大半の議員各位に ご承知のように、新しく議会が構

# 議会構成、補正予算等

ら会期三日聞の日程で開かれまし 供町議会臨時会)が十月十三日 た新議員による初議会(为三回長 去る十月八日の選挙で当選され

本来であると、本日は、 **沙一日目** (十三日) は、 臨時議 議長、

李

会であるので施政方針等について

は

略させていただくのであるが

されました。 **沙二日** (十四日) は休会

いる町財政の現況と、今後の見通

し等について、説明したい。

まず昭和三十九年度の一般会計

しかも、これに加えて、本年実 いたい交付税の減少

当町

Ė, および副議長の選挙、常任委員そ 補正予算案他十二件の議案が上程 の他の委員の選任、そして町長か 昭和四十年度長浜町一般会計

た議案審議が行なわれ、 政方針演説、一般質問、 **沙三日** (十五日)

第3回臨時会

◎委員長-会長 ○副委員長

建

設 務 長

◎坂田信也○久保千代広

浦田定

小川儀三郎

菊地三佐子

常任委員会委員

◎二宮正直○

一宮泰忠 二宮金之助

紙本徳之助 二宮義徳

議

長

後藤熊市

副

議

紙本徳之助

総

◎渡辺仁之助

○藤岡義範

一宮亀久雄

門田

博

明している。

### 原案の通り可決して午後五時に閉 町長の施 全議案を 上程され

### 議長し 後藤熊市氏 9

### こ紙本徳之助氏決まる

選住

衡宅

委居 委

二宮 義徳

菊地三佐子

徳川徳

長三永郎

二宮金之助

監

査

門田

博

議

会

運営委員

◎大野高吉

久保千代広

二宮正直

村本武則

小川儀三郎

員

숲

長

◎大野高吉

産業 経済 文教 厚生

◎徳山長永○村本武則 大野高吉 大成淳 宝生典隆

### 長浜町議会構成表

保

審議委員

二宮正直

二宮金之助

久保千代広

長 8

農業共済運営委員

宝生典隆

徳山長永

都市計画審議委員

二宮義徳

二宮金之助 村本武則

浦田定

小川儀三郎

組合会議員大洲市喜多衛生

大野高吉

# 急務は漁協の育成強化

漁法の近代化等によつて、水産資 低位であり、漁場も、相つぐ密漁漁民の置かれている地位は、全く 源は、枯渇の一途をたどつている ありさまである。 次に、水産業であるが、当町の

た。

る制度を町単独でこの制度を設け

の推進主体となるところの、漁業 業近代化を推進することが、急務 協同組合の育成強化を図つて、漁 続して、漁族の増殖を図つている 存、 当町にあつては、漁礁設置を継 市場等の流通関係の改善とそ 当面の問題としては、陸揚保

### 第一義は購買力の培 養

えている。 購買力の培養がオ一義であると考 りにくいが、当町の場合は、町内 効果を期待できる決め手は見つか 商工業観光については、大きな

る、 が、県信用保証協会に、二百万円営の合理化の一端を果すために町 も影響するものと考えているが経 それには、 県信用保証協会に、二百万円 農林水産業の所得の向上が 消費層の大部分で

行(伊予銀、広銀、愛相銀)がと にあたる金を、当町内の三つの銀を予託して、その十倍の二千万円

育成の方途を図らなくてはならな とにかく、長期的視野に立つて

### 県下一の 一級道路に

ることを確信している。 また、 明るい方向に進んでいる。

Ŕ

主要道路の改良促進である。

年度着手をしている。 すでに、五か年計画をもつて、 幹線ともいうべき、大洲長浜線は とは、論ずるまでもないが、その 網の整備改善が大きく左右すると 業振興にしても、まず、この交通 商工業の振興にしても、農林漁

舗装に着手しているが、早期に町更に、二年前から、町内の町道 九。四連絡海岸線の問題 すべて完全舗装化を

一に、長浜港と、これに連接する 業の強力な推進であるが、まずか 

しては、県下一の才一級道路にな 昭和四十五年度には、地方道と 円、他の市町村に比して、決して 総額におきましては、九干七百万 百二十四万円、 人後に落ちない予算支出を行つて 万円、昭和三十九年度は、九千三 するばかりでなく、 昭和三十八年度は、 四十年度の現在 四千八百四

### 少数の者で 画してい な は

一年前から、研究を中心として、特に、中学校統合については、

X

X

X

者に対して、 れらの取り扱いをして、零細な業 小口の資金を貸付け

いと考えている。

ている。

間の行う営みである以上、これを 営む人間が立派でなければ、 あげてゆく」ということである。 進歩は遅れるということは目明の 形成」つまり、 国作りも、 一口に申せば、 町作りも、 「立派な人を作り 「よりよい人間 すべて人 その

> を、当町につくつてみた 船員等の、ベツドタウン

とりに、理解願つて、また町民ひ

私は、町民の皆様のひとり、ひ

町長就任以来、教育振興を口に 長浜町民 行きたい きるよう とにか

理である。

### 々理想を実現

ておりま が、 一 口 で民生の つて、産業開発と相対して、人間活環境の整備改善ということであ なかんずく、児童、婦人、老人、は、多種多様にわたつているが、 ると思わ の生活の 身体障害 最後に 面からとらえた理念であ 者等の福祉に関する民生 安定であつて、その施策 れ、その目標は、あくま にいうと、社会環境、生 す社会開発の問題である 現在やかましく云われ

してゆく方針である。 人後に落ちな

予算を支出

事業への

人的資源の供給を図ると うな施設を作つて、海運

成するよ

いろよう

なことである。

日本の船員は、長浜町か

いるんだということにな

教育の振興ということを考え

的なもの は、高級 現状からみて、下級船員、あるい ると、非常に人口が流失している ら生れて 将来、

と、心から念願している は優れた住民性を発揮で に、たえず、意を注いで く、子供から大人まで、

力を払つてゆきたい。

画的に達成できるよう、万全の努 とり、ひとりの願いが、着々と計

当町の発展のために、あるいは、 今後、不離一体の態勢を以つて、は、車の両輪とよくいわれるが、 町政を前向きの姿で推進してゆく 当町の町民が少しでも仕合わせに なるために一致団結して、強力に 申すまでもなく、議会と理事者

根本的な、 つき、実施上の諸問題を真剣に究 を加えてきた。 本年度からは、具体的な事頃に 可否について、 検討を

の問題、

伝染病、国民病等で.

備、公園、住宅等の問題、公客や

題を中心とし、教育文化施設の整 環境衛生施設の整備等、衛生の問

行化防止対策等あらゆる面を含ん 災害防止、暴力追放、青少年の非

でいる。

ておりますように、ある少数の者基礎となるので、一部に伝えられ で計画を決定したかの如き状況に ることを、 は、いまだ達していないものであ これらは、研究、計画、立案の 皆様に、言明しておき

老人ホーム、宿所提供施設を始め

特に当町にあつては、保育所、

過去二年間の研究によつて、たい。 念は、 を打破して、これを、実現する信 でたので、 「統合は、 堅持している。 可なり」という結論が あらゆる実施上の困難

> 理想の状態に進んでいる。 整備を終つて、上下水道も、着々 処理、ごみ処理等、多数の施設の 隔離病舎、診療所、火葬場、し尿

との環境整備の問題にあつては

はないかと確信をしている。 のない状態に近づきつつあるので 他の町市村に比して、そんしよく

今後は、とれらの運営管理に万

で、ゆるがせにできない問題であ 当町の地域性、社会的地位に鑑 社会教育は、学校教育とならん 浜町から…… 本の船員は 追加を余儀なくされると思われる さらに、年度末までには、相当の 現在予算額 二千五百八十八万円 経営が必要であると覚悟している におよんでいる。 全を期したいと考えている。 ので、余程、工夫をこらした管理 何分、保育所だけでも、本年度

### 町の発展に とにかく努力

ない。 ば、いかなる困難があつても、 日まで町政を担当してきた。 くべきだとの信念に立脚して、今 心、積極果敢にこれを推進してゆ 難を排し、誠意をもつて、一意専 今後も、 私は、町の発展になることなれ この基本理念はくずさ

# 重んずる車の両輪の型

方針である。

# 川上がにごれ

### 小川 儀三郎

ざいます。 三郎は、長浜町の町民が選んでい の議席の一つを与えていただいた とろの、町議選によりまして、と の総辞職によつて、行なわれたと 予測しなかつた事態によるところ とこに、一般質問を行なう訳でご ただいた、 ところの、一議員としての小川儀 長浜町の町政の上におきまして 一代表といたしまして 町政におけるところ

政を執行してゆく理事者の心構え の一番大切な問題は、長浜町の 政治であるがために、地方におけ の政治が、中央集権化して、しか のであります。 さら申し上げるまでもないと思う な困難に直面していることは、 るところの、自治の政治は、非常 であると思うのでございます。 も財界をパツクとするところの、 これは、ご承知のように、日本 長浜町の、 今 施策をとつておるのだから、長浜

うものの考え方であります。

町において、これを防止せよとい

自治は、 非常に重大である訳でございます 報告のことばがありましたように 程理事者の町政報告の中にありま る。お先まつくらである」という ましては、非常に困難なものがあ したように、 れておる訳でございまして、さき ける二万二千人の人口は、町長の ど承知のように、合併当時にお こういう状態の為にこそ、地方 危機に瀕しておるといわ 「今後の町政に対し

報告にもある通り、一万六千人を 地方における人間がそこで生活で わる状態になつてきておるという ねばならんと思うのであります。 まざまざと、表現しているといわ るという所得格差の現実をここに ことは、中央集権の政治によつて さなくて、 都会に流れて行つて ます。 にごるということは、 あります。 義でなければならないと思うので

でなければならない訳ですから、 正しい姿というものは、地方自治 地方自治が本当に発展するような いうものは、やはり、政治の一番 ろの町政を執行する者の心掛けと こういう状態の中におけるとこ 正しくあるということ というものは、本人にとつて不幸

いう中において、例えば県政に対町民をそういう線にもつてゆくと 人口減少を防止する町としての施 町長の答弁は、 ける田村前議員の質問に対しての 答弁にたつている理事者の答は、 当然であると思うのでございます 貫いてゆきつつ、 要求というものを、中心に掲げて 策はないか」という質問に対して のに、七月二十二日の町議会にお て、やつてゆかねばならないのは ころの、 し、国政に対してそういう要求を 「国が農林漁業の人口を減少さす もらうべきものはもらつ 「これは、長浜の 中央におけると

政治の るならば、これは、重大な問題で う基本的なものをもつておるとす れに右えならえすることが、地方 あると思うのであります。 中央がやることは、善なり。そ 自治性の考え方であるとい

贋

思うのでございます。 並べても、実現の困難なものだと 合におきましては、いかに名文を そういうような考え方である場

主々義でなくて、実行する民主々 の上の民主々義であつてはならな りますけれども、これが、ことば なうものは、民主々義を唱えてお いと思うのであります。 長浜町政において、口にする民 つぎには、だれでも、政治を行

ば、川下は清くなりません。 川の水は、源が清くなかつたなら 川上がにごれておれば、川下が それは、いにしえのことば通り

当然であり

初頭におけるところの、市長選挙 にからんで、理事者のとつた態度 白々であるが、 ればならないということは、明々 は、 民主々義を徹底さす上において 明るく正しい選挙をやらなけ 悲しいかな、今年

不幸な状態である。 万六干人の町民にとつても、誠にであるかも知れないが、長浜町一

福の上に、えりを正して、範をす 町の町政を行うときに、町民の幸 点について、陳謝をされておるよ れども、民主々義をもつて、長浜 られる方があるかも知れませんけ りですから、よいように考えてお 議会においては、理事者はこの きである。

下がに

どれる

ならないと考える訳であります。 びんらんしているといわなければ におけるところの、綱紀は正に、 とういう点において、長浜町政

### つついっぱいの 起債にはならぬか

には、 中学校の統合の問題は、理事者の もこれを一校として、統合さす 決意にもありますように、どうで 中学校の統合の問題でございます あるようでございます。 いうような考え方が非常に強固で オニ点としましては、長浜

程度のことが、われわれが知らさ

れたのでありますけれども、この

二宮金之助

氏

が構成され、委員の変更が行なわ

われること自体がおかしい」とい を統合するより前になさなければ ございます。 ならないととがあつたと思うの 教育をよくすることなれば、学校 はございませんけれども、本当の まして、重要であることには異論 する大切なことであるのでござい 教育の問題は、いずれにも優先

優秀なるところの教師が、 つていつておるという現実であり てゆくのか、この長浜を去つて行 まりたいと思いながらも、他に変 てゆくのか、 いのか、また、計画的に追いだし うような、理由によるのかよらな つているという現実、本人がとど であるとか、革進的であるとかい それは、教師の問題であります 計画的にひきぬかし 進步的

ころの問題であります。 という点は、 どうして、教育の効果があがるか 立派な教師をそんなことをして 非常な疑問を持つておると これは、町民にお

非常な手ぬかりがある訳でござい すが、こういう点につきましては んと私は考えておるのでございま ことを前もつてなさなければなら はずでどざいますから、こういう これには、 予算もともなわない

疑者となつた林教育長が、二年有 また、県議選挙にからんで、 被 対するところの起債わくというも そういう場合において、長浜町

思うのであります。 のとつた態度とはいえないと私は 真に長浜町の教育を考えておる者るところの、町長のその意識が、 余にわたつて、 を認めておるという任命権者であ ておつたというような事実、 教育長の席につい とれ

通わしておるところの、父兄や母 当然でありますが、いま合併を考 親において、一校に賛成をしてお えてみたときには、子供を中学に い気運がおきてくるのは、これは ければ、あまり小さくて仕様がな ては、青島とか、 るものではないのでございます。 とか、そういうところに合併しな 昨日も 中学校の校舎の問題につきまし 議会において、委員会 やがては、豊茂

半数をしめておるところの、人物 ていないという現実です。 等においてすら、十分に知らされ のでありますが、とのような、 中学校統合の問題の内容において の交換ではありましたけれども、 の問題についての、部分的な意見 がて長浜町をひいてたつてゆく過 十分に知つておるものはなかつた れている程度であります。 したときにも、この中学校の統合 新しい議員が、十一名集まりま

質問がありまして、私は、少し細

に大局的な立場より、

いろいろご

とれでは、長浜町の、繁栄という 少ない。五百万円前後であつて、 他の産業に比較しまして、非常に

ものは、楽観できないのではない

ただいま、

小川議員から、非常

部にわたつて、理事者にご説明を

かと考えております。

ます。 とが、おろそかにされておつたと深く、広く、なさねばならないと いわねばならんと思うのでござい ほりさげてやらなければならない こういう点は、もつと、もつと

を検討いたしましても、先に、 少くなる、 年度には、 八百万ないし、一千万は、四十一 に、国勢調査の結果によつては、 たことは、理事者が発表したよう 字が、懸念される状態になつてき 長浜町の財政は、 事者の報告にありましたように、 人口割でくるところの、交付税が なつてやつておつたけれども、 また、財政の面から、この問題 という事実であります 四十年度からくらべて 今でとそ黒字に 赤 理

水は、今、長浜町は余つている。

こういう問題は、私は、

水道の

とのようにも聞かされておりま

なければならないのでございまし く大なるところの、起債も当然し また中学校をやるためには、

民各位の水道料金が、ある程度上

ている水を、使用するならば、町

りな考え方をいたすものでござい らずにすむのではないかとこのよ さに検討いたしまして、その余つ えておられる、工業誘致、をつぶ す。と、するならば、理事者が考

なつて、やがてつぎの産業振興に の起債は、つついつぱいの起債と ます。 ても、 との際、工場誘致の問題につい ご説明を願いたいと思いま

のは、

思う。

状態になる訳でございます。 わずかしか残らないという

だめになつて、どうしても一校と 校を除いて、さしせまつてしなけ ろの、 ば、あえて産業経済に対するとこ とれは、長浜町将来の教育のため ればならないという校舎はないと でございますけれども、長浜中学 しらえなければならない状態なれ 中学校の校舎が七校舎が共に、 しなければならないのは当然 起債予算を分割してでも、

間にできたと記憶しているが、統の校舎は、理事者が、議長在任期 青島中学校の鉄筋コンクリー

合という問題が本当に教育の問題

うような、不合理問題はおきてと 長浜にひきとらねばならないとい あれだけの中学校をつくつておつ て、今度、統合して、あの生徒を として考えられるならば、青島に

りたいと、

ども に、先き立つものは金であるけれ

とのように、無理をして、

なかつたと思う。 起債

れて、その案そのものには賛成が ととで、何をやりたい、かにをや をし、町財政を圧迫し、理事者は 実際に、これをやろうとするとき できるものでありますけれども、 非常にたくさん並べら

> ない。 成をしていない現実のままでおし てゆくというようなことは許され にして、長浜町民の大多数が、賛 態になること とない われわれは犠牲

> > の、

暗いものを払しよくする、き

ととであります。

作文の朗読にすぎないという

長浜町にただようているところ

反映するだけの、熱意を持つてい 勇敢に入れて、 を披瀝され るかという点であります。 民主的な、また、進歩的なものを 本当に長浜町政をよくするための と理事者に要求する訳であります い研究と、深く検討すべきである また、い であります ろいろ、理事者の考え にのでございますが、 から、もつと、巾広 実際に町政の上に

すけれども、あえて、これを身に

いうととは、自然の原則でありま

正しいものに対する抵抗があると

いうことなれば、これに対する、 たない選挙を徹底的になくすると

く勇気があるか、ないか…… 受けて、矢面に立つて、やつてゆ

私は、この点を理事者におうか

でなければ、 町長のいつたこと

> まして、質問を終ります。 がいするために、以上を申し上げ

その起債しか得られない状

けれども、社会というものは、人 の教育費とい と人とのつながりでございます。 人間形成の上におきまして、こ また教育費の問題でございます 繁栄の町を願うならば 対しましての重点的 うものは、基本にな いますので、 今後、

重 教 点 育 費に を お け は

なおまた、商工費というものが

五百万円では少

どんな構想をも この教育費に対すれてい、繁労 な施策を打 ら立てていただきたい

> しく説明をお願いいたします。 つておりますので、この点、くわ きましても、かなりな金額にの かように考える訳でございます。 また、町債あるいは、公債につ

以上をもちまして質問を終りま明をお願いしたいのでございますう問題についても、くわしくご説 な傾向がありわしないか、 こうい担が、かなり増大するというよう 担が、かなり増大するというようが、圧迫されたり、町民各位の負 す。 との特別会計によつて、一般会計 また、特別会計でございますが

### 紙本徳之助 氏

るものと考えております。 ろいろ私たちの考え方も変つてく りましたので、これに対して、

町

税が高すぎる

して、

概略町長が先刻ご説明にな

とつかめておらないのでございま

にでてきまして、町の施政方針と

まず私たちは、新たにこの議会

いうようようなものが、はつきり

つておられるのか、おうかがい

たいと思うのでございます。

理事者としても、

ればならない問題でありますが、

商工業者自体も真剣に考えなけ

願いたいと思います。

ことは、町の税金が非常に高いと おとつておると思うのでございま と、このような意見が、ちまたに たとえば、水道料金にいたしま まず才一に、おうかがいしたい 非常に高いのではないか ておりました関係上、 前議員として町政に参画し

いうことでございます。

待望の、体育館を完成し、東京都 政を堅持しつつ、積極的に、町民 りは、町政に通じておつたと思う と思つていました。 おける施政は、偉大なものである 展、町道の舗装、わずか短期間に完成し、各学校、各産業関係の進 あらゆる諸費を節約して、健全財 政をふりかえつてみますときに、 のでありますが、二年半の西田町 でも、水に不便を感じない水道を めにかけて、長浜町はいかなる年 あるいは、その他の水不足をしり 一般町民よ

敗あるいは、汚職を叫んでおつた を聞きますときに、西田町政の腐 革新系の一部の人の街頭演説ある いは、その他の町民に対する叫び しかるに、今時の改選における

というような方もあつたかも知 ませんが、大部分の町民は、 一部の町民は、犬の遠ぼえだ、 ある

> したいと思 心境になっ に疑いを持 た前議員としましても、何かそこ 知れないと思うのであります。いはと、一種の疑惑をもつたかも 私自身、 したがつて、私は、町長に質問 西田町政を信じておつ た訳であります。 います。 たざるを得ないような

> > ていないか、もしそうであるとす部から、何か証拠をつきつけられ

して、そういう叫んだ革新系の一

### たの か ではないか そこにあつ

解釈しており 自分がかく 位を利用して 私としては、 通念もそう りますが、 私も、一 か一番に、 とくするというように この汚職という定義は が年間、監査委員とし あると思います。 ますし、現在の社会 その職を利用し、地 汚職という問題であ 財政的な利益を、

ます。 う事態はなかつたと記憶しており りますが、その問、何んらそういて、町政を監査して参つたのであ

それがばく は何かそこ ことが盛んに叫ばれたということ しかしなが にあつたのではないか でんとしたものでなく ら、こんどそういう

> 交際費は町長 ひとりのものか

とつていただきたいと存じます。 町民の前に、はつきりした態度を れば、それをここに明らかにして

す。つきりしていただきたいと思いまったり、のかとうが、この点も、は 認したのでありますが、これが、 りの、一年間の飲みくいにつかわ て、この百五十万円が、町長ひと とを叫んでおりましたが、はたし つかわれたような印象を与えるこ すと、すべて、町長の飲みくいに 革新系の書きもの言論等によりま うようなことで、われわれは、 それを有効に配分してつかうとい 各課の交際費を、一か所に集めて 回の町議会におきまして今までの の件が叫ばれましたが、これは前 オ二の問題として、町長交際費 承

ます。 以上でもつて、 私の質問を終り

た長浜町発展のあしあとというも

認めていただきたい。

よかつたものは、よいとしてい

な信頼と、期待とをおび、しかも 人として、やはり、町民の絶対的

一年有余において残されたそうし

言のごときは、私は、

およそ議会

ましてや、先般の七番議員の発

常に遺憾に堪えないものでござい

とき発言があつたということは非

西田町政を、ひぼうするがご

### 西 田 町

政

で

# 一宮正直氏

なければできないという、大きな の着実な実現実施、特に農協の合 体の整備統合、農業構造改善事業 産業振興におきましては、農業団 指導力のたまものであると私は信 併等におきましては、西田町政で まして、内容を話された訳でござ 振興というそれぞれの大綱により をえさしめていただきまして、さ始めて、今回長浜町議会の議席 振興と、公共事業の整備、教育の 話の中に、 聞きした訳でございますが、その 西田町長の施政の大綱をお 二年有余におきまして 三本の柱である産業の て、 欲

展のための諸政策というものが、 浜間の道路の実現と、長浜町の発 すでになされておる訳でございま 上水道の完成、あるいは、大洲長 公共事業の整備におきましても

非行対策等におきましてそれぞれ 老人ホーム、青年学級、青少年の 算を年次増大していただき、中学 の諸政策をたてられておることは ない強い信念に接し、あるいはま た、社会福祉等におきましても、 得て、実現をはからなければなら 教育の振興におきましては、予 いよいよ町民全体の理解を かたい信念のも 等によつて、十分考慮されておら れますが、特に人づくりの中で、 れども、学校教育は、予算の増大 きたい。 得て、あくまでも実現していただ つぎに、社会教育の問題ですけ

そういつたものにより以上の予算 りあげております青年学級、ある 社会教育の中で、 を傾注していただきまして、子供 いは老人学級、あるいは婦人学級 すの収入をよくするための教育も もちろん大事ですけれども、 公民館活動にと 特に

有余にわたつた足跡をみましたと

私は、そういう西田町政の二年

ろはよいと認めよ

西田町政のよいとこ

きに、今回の選挙の中におきまし

は、やはり学校だけではなく、社 く叶ばれている今日におきまして 会教育面における諸施策を十分に 特に、非行化防止の問題等が強

なけ れ できな ば (1)

て、私は、先程の発言にあつたよ

西田町政、長浜町政の前途に対し れども、ただいま申し上げました

せんえつでこざいますけ

長浜町発展のために努力をしてい

の際一掃していただき、

より以上

心から、

うな、いろいろな町民の疑惑をこ

答弁

は、七番議員の発言等において、 ながら、良識をはずれた発言では も、イデオロギーの現れとはいい 私は、非常に憂慮であるし、しか をあたえるがごときは、選挙期間 だかしめ、町民にいろいろな疑惑 中の革新系の発言により、あるい せられて、西田町政を、不審をい いろいろと、一、二の問題を追求 そういうようなものは別にして

# しい議会の推進体制

います。 進体制をもつていただきたいと思 有余の上に、より一歩前進してい ただくために、強力な、議会の推 の諸計画というものが、この二年 私は、 あくまでも、この長浜町発展 こういう観点にたちまし

きましては、本当に町民の理解を りますが、中学校統合問題等につ 努力を払つていきたいと考えてお 教育関係におきましては、格別な いう重責を与えていただきまして 特に、今回、文教厚生委員長と

校の統合という、

をいつも私は考えておるものでご のが、いかに大きいかということ 社会教育のもたらす影響というも

(毎月

(亢,

改善していただきたい。 たちをとりまく社会の教育環境を あすの生産をあげるために、あ

がしたいと思うのでござ、、こっ、 考慮していただきたいことをお願 したいと思うのでございます。

ないかと思うのであります。 町長 町

自治体の発展は

玉

県の

連けいが大切

### 質問に対して、 します。 ただ今、四議員からなされたご

言があつたかと思います。 当する理事者の態度についての発 小川議員から、町政を担

のご意見に反対しようとは思いま う問題については、<br />
私も小川議員 現在の地方自治体の自主性とい

みて、 体の発展はないと、基本的に思つ のの、連けいがなくしては、自治 そのほかあらゆる制度の状況から ております。 を主張してみても国・県というも ただし、現在の地方財 ただ、地方自治の本旨のみ 政制度

かなくてはならないと考ておりま 基本理念として、町政を進めてゆ せになつてゆくということこれを とりの町民が、できるだけ、仕合 展をはかること、また、ひとりひ 私は、その地域の、その町の発

考えております。 ず基本的に、考えてゆくべきだと 反映のできるようなゆき方を、ま 間接の協力を通じて、町政の上に そして、みなさんがたの直接、

本的な観念をとおして、進んでい こうと考えております。 したが、今後においても、この基 過去においても、そうでありま

### 表現の問題で人口減少論は 基本は変らない

林漁業人口を減らしていこうとい のことを話したと思います。若干 う政策だから、これにさからつて との席からおわびいたします。 表現がわるかつた点については、 ゆくことはやりにくいという意味 りますが、これは国の施策が、農 次に人口減少の問題であ

あげるのみでなく、国の産業構造 に対する基本的な方向だと考えて おります。 しかし、この問題は、私が申し

入念にお答えいた

ちません。 いう耕作面積では、経営はなりた 農業にしても、今の三~五反と

いうことを考えてゆかなければな りません。 後に残つた、農業、漁業者も収入 も、できるだけ、他産業へ転向の ければならないという考え方より まで、漁業でめしをくつていかな おやじの代から、 格差のない豊かな生活ができると できる人は、時期をみて転向し、 いる漁業にあつては、このまま、 また、近代化合理化のおくれて むすと、孫の代

ととであると思うのであります。 導を、おこなうことが最も緊要な 定した基盤をつくつていく行政指 何にして有利に導いていくかといでは、他産業へ転かんする人を如 の減少ということも現時点におい う行政指導、後へ残つた方々の安 そういうぜんていに立つて、それ 方を、私は変えておりません。 ては、止むを得ない。という考え こういうことから考えますと人口

した。

て、真剣に検討を加えてまいりま かということを、二年間にわたつ

考えております。 りと専業化してゆく必要があると ぱな町の経営形態を、早くすつき 商、というどつちつかずの中途半 長浜地区のごとく、半農半漁半

あげたと記憶致します。 言したような内容のことを、申し 以上の考え方で、前議会で、 発

# 今後きびしく自戒する

深く、責任を感じております。 いては、小川議員のいわれる通り つぎに、大洲市長選挙の件につ

には、あいさつがないという意味 議員にはあいさつをしたが、町民 の発言があつたが、私は、議場で ただし、小川議員の発言では、 議員の質問は議場録音による) ただきたいことをつけ加えまして 私の質問といたします。(以上四 びを申し上げるということを、申 し上げました。

川議員のいわれるような姿勢で、 政と取り組んでゆく方針である 今後、きびしく自戒して、

オーに、基本的な考え方であるが 来ました。 私たちは、過去二年間にわたつて 現状のままでよいのか、どうかと 当町の中学校教育というものを、 いう基本的な問題から取り組んで つぎに中学校統合問題であるが

> な内容のものをつくつてゆくんだ だ、できてくる学校は、このよう 町民の方の負担はいくらになるん とんなものをつくつていくんだ、 がないので、こういうビジョンで

任クラスの先生方の意見を聞いて町議会、教育現場の校長先生や主 題があるし、用地の問題があるし 題があるし、父兄の経費負担の問 をどのような方法で改善改革をし 実際に統合中学がやれるのかどう ということについては、通学の問 にすることが可能であるかどうか あるゆる角度から、教育委員会、 てまいりました。 てゆくかといつた順序で手をつけ らないということになれば、これ 次にその方法として、一校統合

た。 なる方法で推進してゆくか」と、 んていにたつて、「それでは如何 ることが、可能である」というぜ なければいけない」あるいは「や いうことと取り組んでまいりまし

政の負担の問題その他、このこと ばなりません。 に付随して生ずる問題も多数ある の方法を、でき得る限り綿密に、 と思いますが、これらの問題処理 計画をたててゆかなけれ

議会、教育委員会委員等限られた る方々の意見を集約してゆくべき く、一般町民の代表者的立場にあ 人のみで計画をたてるべきではな あることを考えました。 それがためには、町の理事者、

ので、お許しを願いたい。 この観点から、過去を深く反省

# 計画を加えてきた中・統は、綿密な

現在のままでは教育効果は挙が

との結果、 「統合中学は、やら

先程、ご指摘のありました町財

そこでPTAの代表、学校の先

る前に、まず町民の方に深くおわ きに、議員諸兄にごあいさつをす 深くおわび申し上げると らの研究の結果に基いて、 学校のビジョンをつくりあげて見 生、区長会代表、教育委員会、 議会、町理事者等が集まつてとれ ようということから出発したので

Ł, 統合中学と叫んでいたのでは効果 ためには、ばくぜんと、統合中 合中学の趣旨、 あります。 なぜビジョンをつくるかという 一万六千の町民の方々に、 効果等を理解願う

統

愛

の

徐行

親

1LA

学

計算を加えて、今後、五年、 のバランスとの問題まで、綿密な 画を作らねば、手のつけようがな 後の町財政に影響をする度合まで 起債に伴う、基準、財政収入額と ないぞというような問題、また、 なものをとり入れてくれねばいけ ては、町はこの位は持つべきであ ろう、通学上の経費の負担につい は、この地域でないといけないだ 範囲の方々に集合願つて、何回と いと考えたので、 にわかりよくするために、基本計 なく、会議を開いて、大体、場所 というようなことを、町民の方 また建築する校舎には、こん 先程申し上げた 年

計画によつて、統合中学が推進さ キヤツチしたのであります。 全く違つております。 ておりますが、これは、事実とは れておるかのごとき風説がなされ あるいは、一部の限られた人達の して、一部には、町長の独断で、 以上が現在までの経過でありま

をたてたのが、今までの経過であ 定されたものはなく、ただプラン 統合中学に対しては何ひとつ決

### 反 先進地の視察を 対 者 ٦ そ

広く意見を求めたいと思つており を、各校区別に、下部浸透を図り く町民各位に、統合中学の青写真 Aは、父兄の方々、あるいは、広 真を完成して議会は議会の議員諸 れから数か月中に、最終的な青写 公、学校は、学校の先生、各PT 今後の目途と致しましては、 ح

統合中 町 尗 く 子

互該 生命鄭重 冷静。沈着

やめよう急ぎの

tï

話

かず 待

√その手始めとして、<br />
話を聞くと

あると考えております。

後は下から盛り上がる力を期待し 当町の各父兄の方々、あるいは、 教委の主催で、温泉郡の川内町へ のではないかという観点から、町 ただく方が、父兄の理解が早まる 一般町民の方々を町教委が引卒し これらのことを契機として、今 一日研修をいたしました。

参加して頂けなかつたことであり 唱えている方々が、前回の研修に ていることは、統合中学の反対を の視察をして、よいか、わるいか と、う判断を、ともどもにしてい 恋だ角度からアドバイスをして そ上にたつて、われわれにまた ん。実地の研修をしていただき、 Eiどには、 反対意見の方々も進 する町民としての基本的態度だ だきたいという機会をつくつた ただ、私がいたつて残念に思つ ただきたい。とれが本当に町を 父兄に連絡をとつて、 私は考えております。 町教委で、学校へ連絡をと 先進地

推進する決意であります。 そうして、よりよい教育態勢を つくり上げたがと考えております 次、教員異動の問題は管轄外に か、教員異動の問題は管轄外に 退任の時期を考えていたようであ たしてはいけないということで、 **なし、当町の教育行政に停滞を来** 統合中学という計画時期でもあ 非常に責任を感じていました。 教育長の件については、教育長 は、本値に印正をしますが、よな、本値に印正をしますが、よ ゆる角度から 統合中学の推 なる反対があつても、 公におかれては ものはでてこない。

### は 波に乗り遅れて な b な ()

が高度経済成長政策をとりまして 国全体のレベルがあがつているの ども、基本的な考えとしては、国 つぎに財政上の問題であるけれ 辺地にあつては、その波に乗 ないように、 現在のゆきかたで 社会開発を実行し 産業開発をや 行く一助をなすという考え方。

て居るものであります。 Ď

方向にもつてゆかなくてはならな 大きな経済の動脈をつくり、ある 浜へ引つぱつて帰ることによつて いと考えております。 このように、国や、県の金を長 青島中学の は、文化の動脈をつくつてゆく 建築について「あれ

ればなりません。常に、ちみつな合性に基いての、地域開発でなけ 長浜港の本当のつかいみちという 長浜港ができあがつただけでは、 ありまして、一例を申し上げると 求するものの上にたつての、計画 だ議会に出ていなかつた当時のこ とれは、 計画、その計画が、一般町民の要 の開発においても、計画的な、総 地域社会の開発においても、産業 とであるので、 たのだ」ということでありますが いた計画でなければならないので かも総合的に、しめく」りのつ 結論として、教育においても、 西田の議長の在任中に建築し 考えちがいで、私は、ま ご訂正を願いたい

ような経過でありますの

おります。 業の中心地になつてくると考えて 通ずる道路が、長浜港につながつ トに発揮でき、本当に長浜が、 これは、長浜港ができ、それに 始めて其の力が、百パーセン

るお答えといたします。 以上で、小川議員の質問に対す つぎに、二宮金之助議員の質問

います。

# 域格差の是正をねらう

共建設事業を、 によつて、地域の格差を是正して その中に産業振興のために、ある 政演説の中でも述べましたが、 施策について、これは、先程の行 は、教育の振興のためには、 まず質問の要旨は、町政の重点 産業をオーとし、しかも 強力に進めること 公 くれない場合があります。

実際に、めでみてい ただし、現在のような地方財政

と県とで、 導入することによつて、例えば大 をなすものは、国の金を、当町へ いますので、今後、長浜町の主軸 に困難をきわめておる状況でござ 制度で、特に、あらゆる特別会計 洲長浜間の道路でも、これは、国 海岸線の問題等について 全額負担を致します。 これらがもたらす効果というもの はあらわれないけれども、しかし

同じととであります。 その中にあつて、社会福祉、社会 りあげてゆこうという、この四原よつて、明るい住みよい町をつく 保障というものを推進することに いるので、ご理解願いたい。 ものがあると考えている。しかも 則を中心として、町政をすすめて は、いかなる投資よりも、

# 鈍化している税の伸び

いる。 町税は、四千六百万円を見込んで 用料について説明申し上げると、 使用料については、一千三百万円 以上のように、税の伸びが、鈍 つぎに一般会計の税収入と、使

化している。 とれは小川議員からも指摘があ

因と考えられるので産業振興につ りましたが、地域産業の停滞が原 ないと考えております。 いては、特に留意しなくてはなら つぎ、町債でありますが、一 般

港湾会計は、二千二百九十七万四 七十万円。 は、一億一千六百六十二万三千円 五千円、特別会計では、水道会計 会計の総額が、二億八百八十九万 干円、ブルトー ザー会計が、二百

は、ご存知の通りでありますが、 あります。 が増えるのは、 現在の制度下にあつては、起債額 きを保つことが容易であります。 起債は、少い方が、町財政の健全 当町の起債額が多いということ 合計三億五千百十九万二千円で 止むを得ないと思

### 試算で約+八% 中。 統 $\mathcal{O}$ 財 政

なければならないことは、もちろ んであります。 起債は、投資的な経費に充当し

治省から注意を受けます。二十五 の二十パーセントをこえると、自 ーセントをこえると、貸付して 公債償還額が、基準財政収入額 千万円減税をしています。 で、

とあいまつて、処置をとつてゆく 減税の問題は、

約十五%でありま

教育投資は、一、二年では効果 教育をおろそかに であります。 に約十八パーセント位になるよう 統合中学の財政試算をした場合

することはできない。

その次には、

### 目標が決まれば 経 費 は 追 加

大きい

対策をたてようとは思つていませ 百万円にたらない金額で、商工業 商工費の件について、

町においても、 よつて、こうなるんだということ な施策を構じるのがよいのか、 つくつて、商工会の方々と一緒に 研究を進めているのが実情であり つてゆきましようと話をして、 がら、相当の経費を計上して、 になれば、町にあつても及ばずな つかつて、これを実施することに とつご助言を頂きたい。目標がみ なつて研究をしております。どん しかしながら、 商工振興協議会を 先年から、長浜

### 比重は重い教育費

百万円であります。 くいちがうが、現在予算額四千六 本年度統合中学の敷地造成を行つ が れから申し上げる数字とは、若干 た見込み額を申し上げたので、 万と申し上げましたが、これは、 説明の中に、 教育費の件であります 九千七百

建設的経費一千七百万円であり、 財政的にはよい方であります。 内訳は、 他の市町村と比較して当町は、 経常費 二千九百万円

### 千万円の減税 か 年 で

税に伴う補てん債をいただいたの 九年度と二か年間を合わすと約 して、二百万円減税をしました。 町税の引き下げを実施し、金額に や県の干渉を受けずに町単独で、 ついて、昭和三十八年度には、 昭和三十九年度においては、減 昭和三十八年度と、昭和三十 町税が高いということに 玉

今後、国の施策

れておつたと思います。 きておつたならば、現在のような な上水道にしたので、これらの建 水道料金は、いただかなくてもや るが、今の上水道が、十年前に出 ところが、現上水道は、恒久的

態であります。 現在の料金でもなお赤字がでる状 といたします。 以上で、二宮金之助議員の答弁

るいは、 思つております。 いことを、私自身非常に恥かしく のような答弁をしなければならな つたが、私はこの席にたつて、こ た、選挙期間中における共産党、 一部革新候補の方々から、不正あ つぎに紙本議員から質問のあつ 汚職についての発言があ

と考えております。 惑を持たれないような、立派な人 をし、あらゆる努力を払つて、疑 ろで、今後自分で、あらゆる反省 間になつてゆかなければならない

# 腐敗した現象はない

わるもの、また、当町役場におい 財政特別委員会を開いていただい 間に、ただ今、紙本議員から、ご するならば、いつでも町民の代表 て腐敗した現象が、かりにあると わるもの、あるいは、汚職にまつ 指摘のあつたような、不正にまつ して、二年半になりますが、この しかしながら、私就任いたしま 綿密など検討をいただいて結 議員諸公にあつては、行

せます。

の点は、ご安心願いたい。 さない自信をもつております。そ おいても、そういう問題は、起こ は、絶対にありませんし、今後に 過去においては、そういう事実

反省をして、立派な姿勢で誠意を もつて、町政と取り組んでゆきま そういうことを、お互に、常に この席でお約束

交際費と考えて交際費は長浜町の 交際費 る

> 望むかということを研究して、 方法で、どの方向で、どの機構で

完成していたら し +年 前 に

も

水道料金が高いということであ

設経費が、膨大なものになつた為 これは、長浜町の交際費であ

危険です。

二階でいたとき、階段をおりるのは、

火のまわりが、早くなります。

のは、よくありません。

火事のときは、雨戸など、

あけてしまう

これは、私の不徳のいたすとこ

以上で、 らよいと考えております。 これは、私の行つていることが

# 間口と奥行と対象が広い

がある。 公民館活動には、二つのケー

て、効果をあげているところであ 一つは、教育行政機構が整備され

生活、生産、健康に直結した社会当町の社会教育の基本方針は、 行が広く、その上対象が広い。 社会教育活動は、間口が広く、 教育活動である。 昭和四十一年度までには、ど

共産党が申しておりますこと、 町長の交際費について、 誠

れていないところがあれば誤つて 当町のような予算の組み方がなさ 当町の予算の編成の仕方が本当 他の市町村で

すぐ役場消防係か、有線放送室へ連絡を

万一火筝が起きたときは

考えていません。 交際費を町長交際費とは

と考えております。 私は、就任当初、

終務課長から説明を受けましたが なくてはならないという考え方の いるだけのものは、つかつてゆか なものをつくるべきでない、一本 表面を、カムフラージユしたよう 何々の食糧費であるというような 機密費であるとか、各課単位に、 のでなければならない。かりに、 ばならない。しかも議決を経たも する金というものは一本でなけれ 体面を保ち、 その間において、町が仕事を進 もとに、現在のごとき交際費につ にして、百万でも、 いての予算編成をしたのでありま 町民のために、 百五十万でも 収入役および 使用

K

村があるとするならば、その地域 正しいやり方であつて、もしそう にこそ、メスを入れていただいた いうことをやつておられない市町 つぎに、二宮正直議員の質問に 紙本議員への答弁としま

# ついては、教育長から答弁いたさ 火災

よう。 フトンをなげて、その上にとびおりまし 二階では、綱をつかつておりるか、下に

いものです。 よく燃えます。ころがるほうが消えやす 体に火がついたときは、 走るとかえつて

用心を致しましよう。 とにかく、火事をおこさないように火の 半に大会の幕を閉じました。

申し合わせ決議をして、午後四時

川清氏の、「社会福祉の動向」と

また、神戸女学院大学教授、池

第一個表達的社会

图.7.8

ブラスバ

ンド楽器購入資金として

tll.t.00 세.다.애

金六七五、〇六六円

河. 六. 0回

式(六万円相当) 機一台及びアンテナー

会長 窪 香代子 櫛生保育所父母の会

櫛生保育

所用として

 $\Diamond$ 

金100、000円

11.4.01 |||.中.0周

金一六、六〇〇円 金一九、九〇〇円

四九二 14,00

金二二、〇〇〇円

金四九、 金一四〇、

五〇〇円 000E

電池防水掛時間池掛時計一

計個 個

代表 二宮金之助長浜町PTA

いうテーマの講演がありました。

とのあと、大会宣言、大会実践

Vardussus

ぎつしりうずまつた大会会場

とのことばで結ばれました。

最後は、長浜町保健衛生推進協

で明るい清潔な町づくり」という

ーマで、長浜町二十三区で実施

している環境衛生問題の具体的事

議会長

宮本幹之進氏が、「健康

どの子も、

仕合せにしてやりまし

### 地域の組織を引

進 F 製業 すっつ Ĩ 路 を

> 長 浜 町 社会福祉大会 回

> > 績のあつたつぎの方が表彰されま

との大会の席上で、社会福祉に功

を開けました。

加を得、君が代の国歌斉唱で、幕

デル地区に指定を受けましたので

無医地区で、それ

当町は、県の共同保健計画のモ

当日は、約四百名の関係者の参

髪店 した。 子、鎌田定子、久保千穂、 浜上玄房、福村禅教、矢野元媛 【町長表彰】 【社協会長表彰】 中村権六、村心忠衛、 中村寿々 【町長感謝状】 菅野理太 加藤理

保健衛生推進協議会出海支部 長浜町婦人会連絡協議会、長浜町 幸、田中守夫、藤淵沢馬、山本政郎、小松高数、岸本喜平、大野雅 雄、福村禅教、大田武豊、 【社協会長感謝状】 亀田四



所得者対策について」、世帯更生 年福祉の現況」と、いうテーマで 真市氏は、「私の地区における少 を行つた事例をあげての体験発表 民生委員、東 長浜町PTA連台会長 佐々木 また、事例発表が行となわれ、 富幾子さんは「低

ととは、家庭のよろこびであり、 "子供がすこやかに育つて行く つ、今後特に努力すべき実践事項 をつぎのとおり決議する。 子供のしあわせを守る運動

熱のこもつた事例発表

年月日

寄

付

物

寄

名

目

的

大洲市 八幡浜市

今冏製糸株式会 酒六株式会社

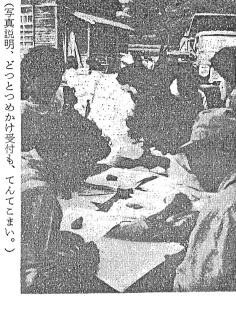
昭和40年度蚕業振興寄付金

同

右

ありがとうござい

まし



決 議

対する町民の理解と協力を求めつ るい町づくりのため、社会福祉に 祉事業関係者は、これを契磯に明 大会を開催し、われわれ、社会福 ととに、オ一回長浜町社会福祉

社会福祉功労者 大会会長から表彰を受ける



ました。 ということで、豊茂地区を選定し に、地元の協力性の強いところを

査でした。 検査、乳幼児検査および、

体力検

育所の園児四十八人、大和氷二小 当日検査を受けた方は、豊茂保

を地域ぐるみで、積極的に推

町の社会福祉事業の画期的発展を

大和
オニ
小学校で、
豊茂地区の、

住民課では、九月二十六日

総合診断を行いました。

い認識と、強い関心を高めて、当 加へ、地区組織活動に対する新し 将来進むべき方向について検討を 盛大に開かれました。

堂に会し、当面の問題をはじめ 当町の社会福祉事業関係者が 二十九日、午前九時半から体育館

豊茂の健康を分析

り

町と、町社協との共催で、

九月

で、オー回長浜町社会福祉大会が

ねらいとしたものです。

診断科目は、レントゲン科、

科、歯科、皮膚科、内科、成人病 精神衛生相談、血液型判定、水質

一、健康で、清潔な町づくり運 の組織強化を図る。 動を推進してゆくため、地域

昭和四十年九月二十九日 **为一回長浜町社会福祉大会** 

> 晋 遞

> > 大字長

V

午前九時から、長浜高等学校グラ ンドで、オ一回成人男子バレーポ 長浜公民館では、九月二十六日 ▼長浜チームが優勝

四位以下のチームには、参加賞が 海チームには、賞状と記念品、オ 喜多灘チーム、氷三位の豊茂と出 に柴の九チームでした。 沢、櫛生、出海、豊茂、白滝それ 三位は、豊茂と出海でした。 しました。準優勝は、喜多灘、オ 優勝した長浜チーム、 参加チームは喜多灘、長浜、須 熱戦の結果、長浜チームが優勝 ル大会を開きました。 準優勝の に届けら 事業資金に充当してほしい」と、 町社会福祉協議社へ寄付されまし れました。 の金五百円を、共同募金に寄付さ から拾い主に渡されましたが、そ きても落し主がなかつた為、警察 んは、先般、五百円を拾われ警察 大字長浜四十四区の、久保当子 ▼拾

れていました、期限が

のポスターも責任をもつて、はぎ たが、選挙が終つた翌日には、そ

去られました。きれいな選挙のス

共

同募金に

つた金を

しいたけ 血圧をさげる

を閉じました。 それぞれわたされ、午後三時に幕

たんぱくの多い肉食の代りに、し 古来、文化人のそうりよが、動物 いたけを食べていたことでもわか しいたけの営養のあることは、

晴、阿部

ムのメンバー

でした。 方、六百十人、合計八百五十八人中学校の児童生徒二百人、一般の

され、係品

員は沢山なごちそうと一

三十三人という大掛かりなもので 看護婦十五人、役場四十人、地元 洲保健所二十七人、 との診断に動員した係員は、大 医師十四人、

豊

茂

の婦人会の方の手で、昼食が準備あたたかい心が盛りあがり、地元 「地元でつくりましよう」という また、これら係員の昼食は、

たいが、コレストロールが恐ろし

の結果は、 合診断の分析をしていますが、とところで、ただいま県では、総 長浜町の総合的な健康管理の資料 込みです。 緒に地元婦人会の方々の、心のあ たたかさを味わわせて頂きました に役立てることになつています。 そして、 この分析にもとずいて 十一月下旬頃発表の見

たけを肉と一緒に食べれば、この と、心配されていましたが、しい くて食べられない………。」

心配は全くありません。

香 裕 典返しを寄付 東 秀行、次家 誠

い方は、しいたけを召し上つてく

栄養と、美容に、特に血圧の高

矢野

氏は、先般なくなられた、父、秋 浜、二十区、久保田関夫

ださい。

編集室

円を、「長浜町社会福祉協議会の

太郎氏の

香典返しのかわりに三万

りのポスターが、はられていまし なみに、町議立候補者の色とりど われました。 町内の各地区には、参議院選挙 十月八日には町議選挙が行な

活躍を見守りましよう。 わたくしたちの選んだ代表者の 山茶花を

雀のこほず日和かな

晩秋から初冬にかかると、鉢草

も大方は枯れて、さざんかだけひ のです。 とりのこつて、ふぜいを添えるも よく、小春日よりがつづきます。 そして、さざんかの咲くころは

すつかり、日あしが、短くな

は、なんとなく、気ぜわしい月で 師走を目近にひかえて、この月

かぜをひかないように、十分気を つけましよう。 日ましに、寒くなりますから、 町内の各地区に、娘さんが増

はずだが………」という娘さん によく出逢います。 えてきました。 「あの娘は、都会にいつている

として 器購入費 は るかん選用

果所鉄道引込線購入費 として

ひずみが、当町にも押し寄せてき のでしようか?。 たためである」とは、ある町内の オーソリティのことばです。 それは、「高度経済成長政策の

どうして、娘さんが多くなつた

としてという校国旗掲揚台建設資金 折りたたみ長いす三十脚分

長浜小学校体育館校庭用として

けが、成人病で最も恐れられてい ととを、内外の立派な学者が証明 ルを少なくする大きな作用がある る血管中にたまる、コレストロー りますが、近年になつて、しいた しました。 スタミナをつけるには肉を食べ